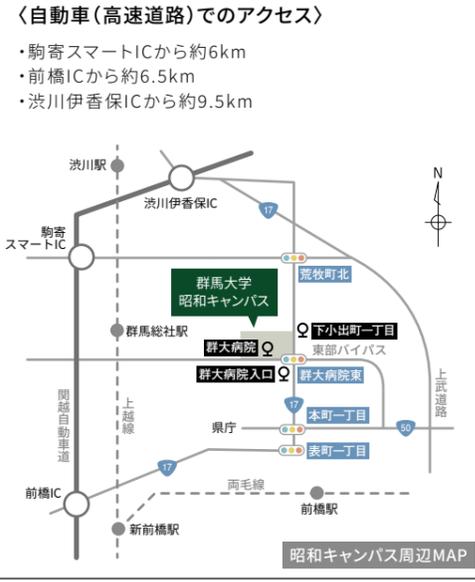
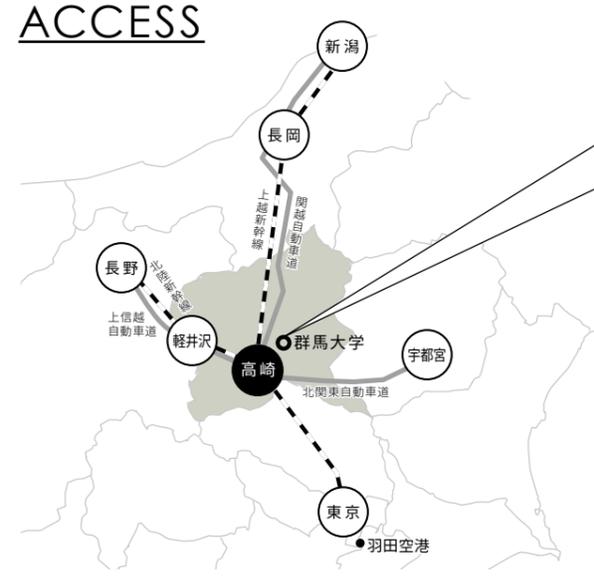


# ACCESS



## 2023 群馬大学オープンキャンパス

グッデイ  
**GU'DAY**

〈対象〉 高校生・中学生・保護者等

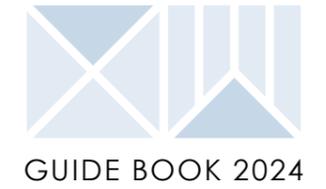
詳細は決まり次第、「受験生応援サイト」でお知らせします。

受験生応援サイト ▶

<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>



医学部(医学科・保健学科)  
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番地22号



人が診る、人を診る

# MESSAGE



豊かな人間性を身につけ、地域に根ざし  
世界にチャレンジする医療人を目指しましょう！

医学部長 **小湊 慶彦**

YOSHIHIKO KOMINATO

群馬大学医学部は、1943年(昭和18年)に設置された前橋医学専門学校に端を発し、今年82年目を迎え、北関東における医学・保健学教育と研究の中心として、医学科では多くの医師、医学研究者、医療行政者などを育成し、保健学科では看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士などを育成してきました。医学部附属病院は、地域医療の中核として社会に貢献しています。重粒子線医学センターでは、平成22年より、日本の大学で最初に設置された世界最先端のがん治療装置を用いて重粒子線治療を開始しています。

医学科は、生命や人体の構造と機能を追求し、疾病の本態を解明し、それを克服するための方策を探求するとともに、優れた人間性を持つ医師や最先端の医学研究者を養成することを主な目的としています。保健学科は、総合的で先進的な保健学教育・研究を展開することをとおして、保健医療の専門職として確固たる倫理観と豊かな人間性を持ち、社会的使命を果たすことのできる医療人の育成を目的としています。

医学部では、以前より入学試験と学生教育の改善に力を入れ、多様な学生を迎える体制を整えてきました。入学後は、早期から医療の実際に触れ、医療従事者となる上で必要な知識、技術、医療プロフェッショナリズムを早くから学生自身が身をもって体験で

きるように配慮しています。また、医療は多くの職種の人たちのチームワークによって成り立っています。医学科生と保健学科生は、一部の教育・実習のプログラム、時間外の運動クラブや文化クラブの活動に共同で取り組んでいます。医学部学生は、スポーツ、文化活動、ボランティア活動などとおして、広い視野のもとに医学・医療を学び、人間性豊かな医師・医療人、また、教育者・研究者・医療行政担当者に成長することが期待されます。また医学部附属病院は、医師と医師以外のスタッフが密接に連携し、質の高い医療を提供することを目指しています。

医学部では国際交流にも力を入れています。アメリカ合衆国、イギリス、ドイツ、モンゴル、台湾、韓国、インドネシア、タイ、コロンビア、ニカラグアなどの大学とは、学部学生が国際間交流を行っています。国際的に医療人として活躍しようと考えている人ばかりでなく、多くの学生諸君が先進国や途上国の医療情勢を体験し、外国の医学系の知人と情報を交換し国際感覚を培うことは、将来的にも有用で意義深いことです。医学部では今後も国際交流の充実を進めていきます。

豊かな人間性を身につけ、地域に根ざしつつ世界にチャレンジする医療人を目指す人は、是非群馬大学で学ぶことを考えてください。

# CONTENTS

学部長メッセージ		保健学科	12	キャンパスマップ	22
現役学生座談会	01	保健学科長メッセージ	13	クラブ&サークル	23
医学科	04	教育の特徴	14	キャンパスライフ	24
医学科長メッセージ	05	カリキュラム	16	データで見る群大医学部	26
教育の特徴	06	教員紹介	18	キャンパスライフQ&A	27
カリキュラム	08	卒業生メッセージ	20	入学について	28
教員紹介	10				
卒業生メッセージ	11				

## 人が診る、人を診る



# 群馬大学医学部 現役学生座談会

## ROUND-TABLE TALK



### 次世代を担う 群馬大学医学部 現役大学生が語るリアル

医学科と保健学科からなる医学部。最先端の治療や研究が進む医学科、世界に認められたチーム医療教育をリードする保健学科。そこで学ぶ現役大学生たちが、群馬大学の学び、生活、魅力などを実体験を基に語りました。

## TALK MEMBER

〔写真 左〕  
群馬大学医学部  
保健学科  
検査技術科学専攻 4年

### 柴沼 里桜

茨城県  
茨城高等学校 出身

帰省の際に実家の愛犬と遊ぶのが楽しみ。群馬に  
いる間は両親から犬の写真を送ってもらっている。

〔写真 中央左〕  
群馬大学医学部  
医学科 4年

### 中嶋 理名

群馬県立  
高崎女子高等学校 出身

「埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業」のロゴマーク募集に応募し、採用された。

〔写真 中央右〕  
群馬大学医学部  
保健学科  
看護学専攻 4年

### 島田 愛梨

群馬県立  
前橋東高等学校 出身

お菓子作りが好き。いろいろな種類のクッキーを詰めて作る「クッキー缶」を仕上げたい。

〔写真 右〕  
群馬大学医学部  
医学科 4年

### 前田 悠宇

群馬県立  
前橋高等学校 出身

「マンドリン・ソサエティ」に参加し、仲間と演奏を楽しむ。3年次にはコンサートマスターも務めた。

## 医療職への想い、群大を選んだ理由

——医療職を目指したきっかけや、学びの場に群馬大学医学部を選んだ理由を教えてください。

**柴沼:**自分が病気を何回か経験していて、その中で医療従事者になりたいと考えていたことが一番大きいです。患者さんの診療から治療までずっと関われるという点に魅力を感じて臨床検査技師を志望し、細胞検査士養成コースがあったので本学に進学しました。中学時代から顕微鏡を使うのが大好きで、顕微鏡で細胞を見て判断する細胞検査士という職に就きたいと思ったためです。

**前田:**私は両親が医療職であるため、自分は将来医師になるのだろうと幼い頃からぼんやり考えていました。中学生のときに虫垂炎で手術を受けた際、不安な私に担当の医師や看護師がすごく明るく接して

くれて、自分もこんなふうに関りがいのある存在になりたいと感じて医療職への思いが強まりました。本学を選んだのは、ここで医学を学び、その学びを地域医療として還元したいという気持ちが強くあったためです。私は地域医療枠で入学しています。

**島田:**私の場合は母親や親戚など身近なところに看護師の存在があったので話を聞く機会も多く、進路を考えるときに自然と看護師を選んだ感じです。また、看護師について調べたり、高校の看護体験で病院に行ったりする中で、患者さんの回復を見られたり、自身の学びを活かしたりするやりがいのある職だと感じました。群馬大学は附属病院が敷地内であって学修環境が整っている点が魅力です。

**中嶋:**私は小さい頃すぐく体が弱くて、ほかの子よりも小児科をはじめいろいろな病院にかかる機会が多く、医師は自分にとっての身近な職業でした。本学を選んだのは、前田さんと同じで、自分を育ててく

## ROUND-TABLE TALK

れた群馬県に恩返ししたいという思いが強かったからです。群馬大学医学部は地域医療への支援が厚いのが魅力的ですね。

——地域医療枠での入学にはどのようなメリットがありますか？

前田：学費の援助の面もありますし、先輩後輩のつながりも魅力です。医学部のサークルに入っていない私は医学科内の上下のつながりが少ないのですが、地域医療枠では同じ地域医療枠の先輩後輩との交流があるので、そういうところがとてもありがたいです。

中嶋：地域医療枠学生向けの、県内の病院を回るバスツアーなど、病院見学の機会をいただけるのも嬉しいです。病院内の様子を知ることができる貴重な機会になっていますし、県内の医療についてさまざまな知識を得られるのもメリットだと感じます。例えば、藤岡地域の病院見学へ行った際には、県境地域に所在する病院ならではの役割を知りました。学生のうちから各病院の特性や雰囲気を知ることができるのは、職場とのマッチングの面でも生きてくると思います。



## コロナ禍でも安心して学べた

——「群大でよかった」と感じる点を教えてください。

中嶋：コロナ禍の始まりに入学したのでオンライン授業が多くを占めていて、戸惑いを覚えました。友達できるかな、テスト大丈夫かなといういろいろな不安もありましたが、その中でもたくさん友達ができ、県外出身者も多くて多様な環境から来ている友人と出会えたというのは、自分にとってよかった点ですね。

柴沼：入学前には勉強についていけるだろうかという不安がありましたが、コロナ禍の中でも友人とLINEやZoom等でつながれて、そこで一緒に勉強できたのがよかったです。また、先生方がとても親しく接してくださって、メールで質問しても直接行っても、すごく丁寧に細かく教えてくださいました。そうした先生方の手厚いサポートのおかげで、4年生まで頑張っただけで勉強が続けてこれたと思います。

島田：看護は演習をしてこそ身に付くことも多いので、特に低学年の頃は演習授業が多かったのですが、コロナ禍でも先生たちが、家でも用意できる代替品を使って少しでもよく理解できるように工夫してく

ださったり、週1回など少しでも大学に来られるように講義のスケジュールを調整してくださったりと、そうしたことのおかげで何とか技術を身に付けながらここまで来られたと感じています。

——群馬大学医学部のおすすめポイントはどんな点ですか？

柴沼：チューター制度ですね。コロナ禍に入学したとき、学生同士はみんな初めてで何も分からないので先生しか頼れる人がおらず、でも本学にはチューター制度があるので、「この先生に連絡すれば何でも聞いて大丈夫」というのがすごく安心感がありました。実際に私も、Zoomの使い方を、授業が始まる前にチューターの先生と一緒にやって教えてくださって、おかげで授業を不安なく始められました。



島田：3年次に医学科と保健学科合同でやる「チームワーク実習」がありますが、これは本学ならではのよい取り組みだと感じます。自分の専攻以外のいろいろな分野の人の考えを知ることは医療現場におけるチームワークに重要だと言われているので、それが学生のうちから学べるのはいいなと思います。

前田：本学は、厳しい受験を乗り越え、医療者になりたいという思いで一生懸命勉強している人たちが集まっている場所なので、意識の高い学生が多いという点でもおすすめできます。周囲の人の存在が自分のモチベーションを上げてくれますし、励みにもなります。

## 大学生生活の楽しさを満喫

——どんな毎日をご過ごされていますか？

中嶋：私は週に2~3回、硬式テニス部の活動があって、ほかの日はアルバイトもしています。部活を通じて他学年と関われる時間があるのはいいなと思いますし、そこで得たつながりで、普段から食事や遊びにいけるのも楽しいですね。

柴沼：一人暮らしをしていますが、4年生になって細胞検査士コースの勉強が忙しくなり帰宅が遅くなってしまうので、平日どこまで家事をするかというのを自分の中で決めました。実家にいたころはゴロゴロしていてよく親に怒られていましたが、親から離れてみて家事の大変さを実感しました。3年生までは余裕のある時期もあったので、そういうときは友達と出かけた

りするのが楽しみでした。前田：マンドリンの演奏をするサークルで、活動を楽しんでいます。練習後にみんなでごはんを食べにいたり遊びにいたり、そういう交流が高校までよりも



ずっと自由でできるのは大学生ならではの魅力ですね。仲間の中には沖縄や八丈島の出身者などいて、いろいろな環境を知る人と関われるのも楽しいです。もちろん、マンドリンを演奏すること自体も、生活の中

でのアクセントになっています。島田：看護学専攻は忙しいというイメージがあるかと思うのですが、確かに課題やテストが重なって忙しい時期もありますが、私の場合はアルバイトをしたり、長期休みに友達とテーマパークに出かけたりと、オン・オフをつくることで大学生活を充実させています。看護を選んだからといって勉強づけになるということはないと思います。課題が複数重なったときも、計画的にこなせば大丈夫です。

## 未来へ向けて、今思うこと

——将来へのビジョンや夢を教えてください。

前田：将来は臨床医になりたいです。診療科は、今後の研修や実習を経て決めていきたいです。将来的な、医師としての理想像は、「学び続ける医師」です。医学の発展は速く、数年経つと今学んでいることも変わってしまうと先生方からも教えられているので、大学での学びだけで満足せず、むしろそこをスタートとして、働き始めてからも自ら学びにいき最新の情報を得て、それを基にその時点での最善の医療を患者さんに提供できる医師になりたいと考えています。

中嶋：私は地域医療への貢献を目指し県内の医療機関で働こうと思うのですが、その際には「患者さんに寄り添う医療」を大事にしたいです。病院見学などの際に医師と患者さんのよい信頼関係の一端を見ることがあり、私もそういうものを大事にしたいと思っています。また、看護師や検査技師などのほかの医療職の人たちとしっかりコミュニケーションを取り、患者さんも含めたチームとして「みんなで医療を良いものにしていこう」という姿勢で臨床に臨んでいきたいです。

島田：卒業後は看護師として働き、患者さんが安心してできるよう知識や技術を高めていきたいです。私は保健師コースも履修し、保健師資格取得のための勉強もしているのですが、看護師の仕事の幅というのは思っていたよりも広いと感じています。専門看護師や認定看護師もあり、働く場所も病院以外にも企業や学校など多彩で、自分のライフステージや興味関心に合わせて続けられる職だと感じています。

柴沼：私はいずれは臨床検査技師・細胞検査士として働きたいと思っているので



すが、その前にまず大学院に進学したいです。今、研究室に所属しているのですが、先生方や先輩方がすごく生き生きと研究されていて楽しそうなのと、なぜそういう細胞像が見えるようになったのかという理屈の部分を考えていくのが面白そうと興味を引かれます。研究を通して知識を深め、臨床に出たあとも論理に基づいて細胞像を判定できるというのは強みになるのではないかと考えています。

## 群馬大学医学部を目指す後輩たちへ

——本学を目指す皆さんに、受験の心構えやコツをお願いします。

前田：受験期には精神的に苦しい状態が続きますが、そんなときに大事なのはやはり友達だと思います。浪人時代に予備校と一緒に通う友人がいましたが、友人と話すことでメンタルが保っていた面は大きいと思います。それと、ありきたりですが、「諦めないこと」は大事ですね。私はセンター試験では思うような結果が出ませんでしたが、そこから頑張っただけで2次試験に挑んだ結果、最終的に地域医療枠で行けるまでうまくいきました。諦めなかったことが成功につながったと思います。

中嶋：私も友達の存在というのは大きかったですね。また、入学後のテスト勉強の際も同じですが、自分の生活を崩さないようにすることも大切です。寝ずに頑張るとか、そういうふうには生活を切り詰めるのではなく、普段の生活のリズムを保って、健康な状態で試験に挑むというのは、メンタル的にもメリットがあると思います。

島田：私も深夜に勉強するのが苦痛だったので、「きょうも自分、頑張ったな」と思ってきちんと寝られるように、早めに一日のスケジュールを立てて、それに合わせてやっていけるようにしていました。

柴沼：私は推薦入試を利用したのですが、高校3年の9月まで吹奏楽部の活動を頑張っていました。勉強だけに注力できるようになったのが受験日の2か月ほど前で、そこからはとにかく焦ってしまって、これじゃだめだと途中で思い、「毎日これだけは絶対にやる」というのを決めてルーティン化したところ、気持ちも落ち着き、できることも増えていきました。心が折れそうになったときは、臨床検査技師や細胞検査士として働いている方たちのインタビューなどをインターネットで探して読み、「私もこんなふうになりたい!」と気持ちを奮い立たせました。受験勉強と部活を両立する受験生は、時間の使い方を考え直し、取捨選択をしてみてもいいと思います。

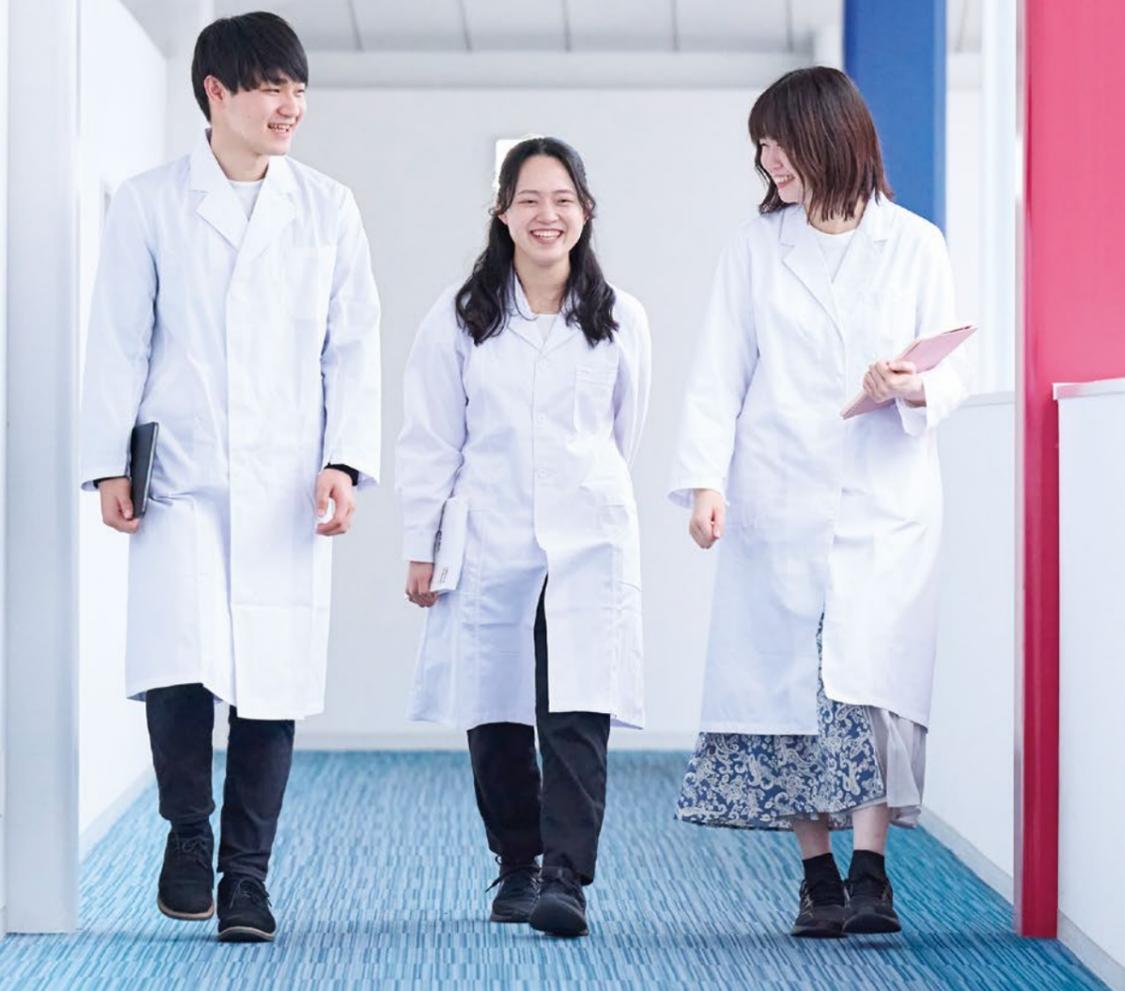




# 医 学 科

## SCHOOL of MEDICINE

北関東を代表する国立大学医学部。  
北関東に広がる強力な  
関連医療機関ネットワーク。



### 医学科が探求する“SES”



**Science** 科学的知

**Ethics** 倫理

**Skill** 技能

医学科は、医の科学 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の探求と、それらの統合による、医学の研究と教育の推進、ならびに医学と医療をリードする人材の育成を理念に掲げています。理念の実現に当たり、アウトカム (卒業時に目指すべき学生像) を設定し、アウトカム基盤教育カリキュラムの実施によって、国際基準の実力を有する、これからの時代に生き生きと活躍できる主体性と自律性を備えた医師の育成を目指しています。



### 学科長メッセージ



科学的知・倫理観・医療技術  
バランスのとれた医師、研究者、教育者の  
育成を目指して

医学科長 小湊 慶彦

群馬大学医学部医学科は2016年(平成28年)9月にアウトカムを策定しました。アウトカムとは「卒業時に目指すべき学生像」です。それは、「医学・医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面にわたって生涯自己研鑽を続けることができる学生」というものです。

具体的には下記の8つの能力を身につけなければなりません。

医学科は2017年に日本医学教育評価機構 (JACME) の医学教育分野別評価を受審し、「グローバルスタンダードに適う医学教育を実施している」と認定されました。是非グローバルスタンダードの医学教育を受けて上記の能力を身につけ、臨床医として、基礎研究医として、あるいは公衆衛生医として、人類の福祉に貢献していただきたいと思っております。



### 卒業時に身につけておくべき 8つの力

#### A. 自己省察力

自分にとって何が課題であるかを見定め、自己管理に努めながら、1つずつ課題に取り組むことができる。

#### B. 知識の獲得と知識を応用する力

基礎医学、臨床医学の各分野における知識を身につけ、それらがお互いに関連していることを理解し応用することができる。また、医師が持つべき知は医学にとどまらないことを理解し自然科学をはじめとする幅広い分野の知識を身につけ、それらを医学・医療に応用する力を培う。

#### C. コミュニケーション能力

相互理解と人間関係の構築を意識し、患者やその家族、スタッフと対話を重ねることができる。

#### D. チーム医療の中で協働する力

医療チームの他の構成員と積極的に対話を重ねる意義を理解し、他職種の専門性を尊重しながら対等な立場に立って協働することができる。

#### E. 基本的な総合診察能力

統合された知識、技能、態度に基づき、患者にとってより良い医療を提供するための実践的能力を有する。

#### F. 地域医療の向上に貢献する能力

医療の社会的・経済的側面を把握し、地域医療に貢献するための能力を身につけている。

#### G. 医学研究を遂行する能力

医学・医療の発展に資する研究を遂行する意欲と資質を備える。

#### H. 自己研鑽

医師としてのキャリアを継続させて、生涯にわたり自己研鑽を行う意欲を持ち続ける。

医学科について  
詳しくはWEBをご覧ください



# 教育の特徴 CHARACTERISTICS of EDUCATION

## POINT 01 安心・安全で質の高い医療を提供する人材の育成を目指す 医療の質と安全に立脚した医師の養成

全国の医学部の中でも先駆けて「医療の質・安全学講座」を設置しており、安心・安全で質の高い医療を提供する人材の育成を目指しています。6年間を通して、基礎・臨床医学の知識・技能に加え、行動科学やシステム思考、コミュニケーション、チームワーク、患者参加型医療など、幅広く学べるカリキュラムを提供し、さまざまなバックグラウンドを持つ患者さんやご家族の多様なニーズに対応できる医師としての力を身につけます。また、安心・安全で質の高い医療を提供するためには、多くの専門職が力を出し合い協働する「チーム医療」が不可欠です。学生のうちから、ほかの医療専門職を目指す学生と連携する経験が持てるよう、保健学科の学生との合同講義・演習も設定されています。



チーム医療を学ぶ授業でのグループディスカッションの様子

## POINT 02 地域医療マインドを持つ意欲的な人材を支援する 地域医療枠制度

群馬県の地域医療に貢献したいという意欲にあふれる「地域医療枠学生」は、群馬県から修学資金の貸与を受けて修学し、臨床研修を含めた卒業後10年間、県内の特定病院で医療に従事しながら、地域で求められる医師としての資質、能力、専門性を身につけていきます。

地域医療枠学生は、医師不足地域での病院体験セミナー、地域医療を支える先輩医師との情報交流会や合同フォーラムに参加し、医師としての将来像を思い描きながら、県内の医療情勢や地域医療の魅力を学ぶことができます。

医学部附属病院内の群馬県地域医療支援センターでは、群馬県や関連施設と連携し、地域医療に関心のある学生を支援しています。



地域医療枠 新入生 群馬県庁訪問の様子

### 修学資金の返還免除について

卒業後、県内の特定病院にて、初期研修を含めて10年間勤務した場合は、修学資金の返還が全額免除されます。

### WEB PAGE

群馬県  
地域医療支援  
センター



## POINT 03 学生のうちから研究に参加 MD-PhDコース

医師には患者さんを診る臨床医のほかに、病気の予防や治療を目指して研究を行う研究医もいます。研究医を目指す学生はもちろん、臨床医を目指す学生でも研究に興味があればMD-PhDコースがお勧めです。本学のMD-PhDコースは放課後や長期休暇を利用して研究活動に参加する方式をとっており、医学部は6年間で卒業できます。MD-PhDコースでの活動が認められれば、将来大学院に進学したときに通常より1年早く博士の学位を取得することが可能です。また、研究に興味のある学生のネットワークである医学部学生研究会で学生同士の交流を深めることもできますので、研究に少しでも興味のある方は参加してみてください。

## POINT 04 地域特性や医療にかかわる さまざまな体制を体感できる 豊富な実習施設

県内全域および県外の施設・病院の協力のもと、群馬大学医学部附属病院以外にさまざまな産業構造を持つ地域での実習を行っています。例えば、低学年での介護老人保健施設や介護老人福祉施設における実習、高学年の診療参加型臨床実習では、豊富な実習先の中から、自分の学びたい分野、自分の目指す将来像を見据えた実習先を選択できるのが魅力です。各実習協力施設とは定期的に意見交換をする場を設けており、各施設での実習内容や問題点を全施設において共有することにより、常に実習の改善、向上を図っています。

## POINT 05 充実したシミュレーション教育 スキルラボセンター

医学部附属病院のスキルラボセンターは、採血や気管挿管、縫合といった基本の手技から、内視鏡検査や超音波検査、そして腹腔鏡手術、ロボット手術などの最先端の医療技術までトレーニングを行うことができる、さまざまなシミュレータを有する国内屈指の施設です。低学年の基礎医学の実習から高学年の臨床実習まで、さまざまな場面で医学部の学生が利用しています。低学年から実際の医療機器に触れたり、診療場面を再現するシナリオを設定してトレーニングを行うことも可能です。さらに、病院で働く医師や看護師、薬剤師などの医療従事者も利用し、医療技術の維持、向上に役立っています。

## POINT 06 入学から卒業まで学生をサポート チューター制度

医学科では、学生一人ひとりにチューターとして教授を割り当て、個別に指導と助言を行う「チューター制度」を設けています。チューターは、入学時から卒業時まで一貫して学生をサポートします。学生生活において困ったことがあった場合、学修上の問題があった場合、留学先や研修病院先への推薦書が必要な場合など、あらゆる場面で相談のり、適切なサポートをします。また、チューター制度以外にも学生相談員制度なども設けており、教職員一体となって学生生活をサポートしています。

## STUDENT'S VOICE

### 地域医療枠制度

### 患者さんに寄り添える医師目指し、精進



宮本 駿

医学科 5年

群馬県立高崎高等学校出身

外科医である父親に幼い頃から憧れがあり、同じ道を目指そうと医学部へ。若手医師の都市部への流出が課題である本県の状況を鑑み、現状の改善に一役買おうと地域医療枠で入学しました。地域枠で卒業し研修医として活躍されている先生方や他学年の地域枠学生と交流する機会があったり、本県の医療の実際を具体的に知ることができ、地域枠入学の大きなメリットだと感じます。将来は外科医として、群馬県の医療を支えたいと考えています。

	時 間 割				
	月	火	水	木	金
1~2	オリエンテーション	受け持ち患者割り当て・情報収集	各種測定実習		
3~4	カンファレンス	嚥下障害・運動器疾患のリハ(講義)	脳卒中とリハ(講義)		リスク管理(講義)
5~6	在宅医療とリハ(講義)	受け持ち患者診察	動作解析(講義)	リハ観察・症例報告作成	症例報告発表
7~8	抄読会 神経疾患のリハ(講義)	地域リハ(講義)	嚥下回診(講義)		
After school					

※上記はリハビリテーション部の場合の時間割

## STUDENT'S VOICE

### MD-PhDコース

### 他大学の医学生と研究発表で交流も



荒川 智成

医学科 4年

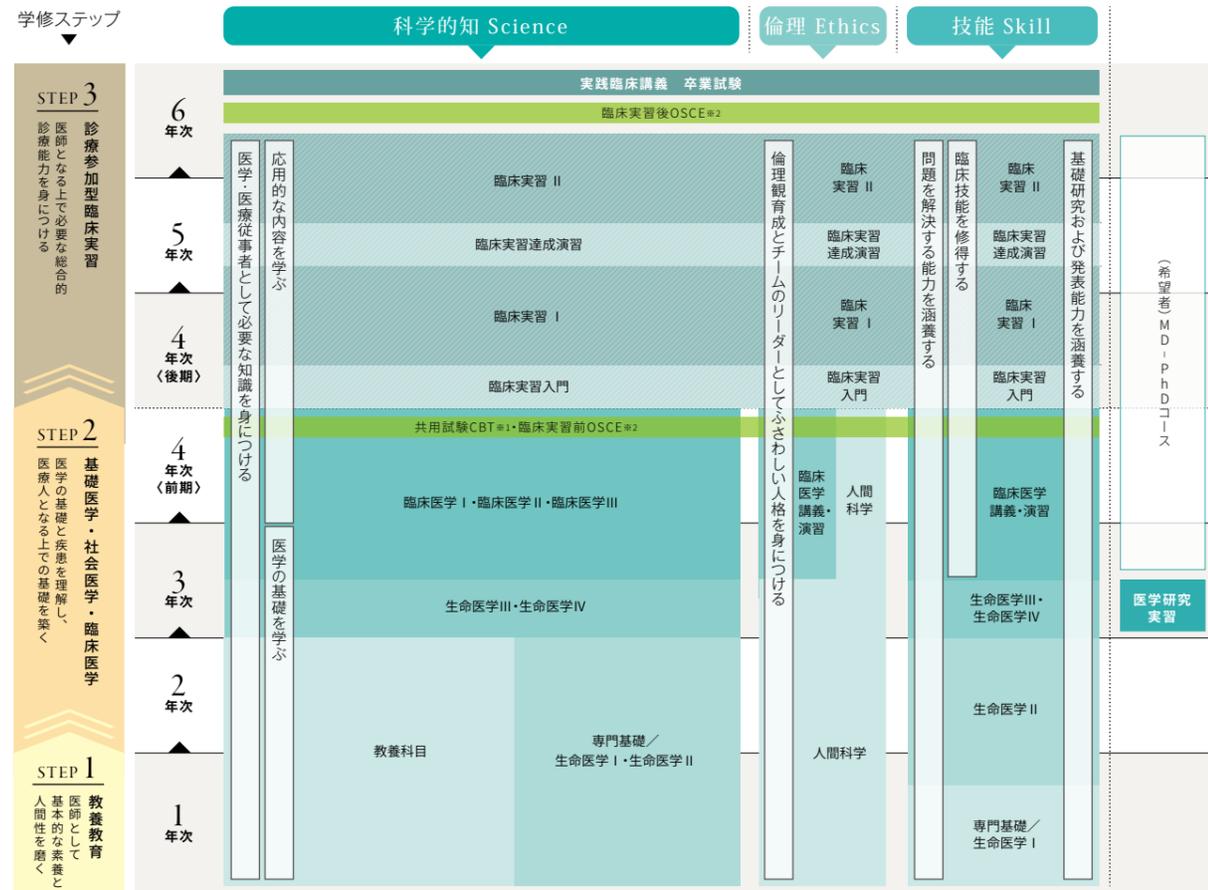
東京都立日比谷高等学校出身

MD-PhDコースは、卒後の明確な進路が決まっていない医学生の時点で基礎研究にも挑戦できる良い機会だと思います。実験手技をはじめ、研究の考え方や発表方法についても丁寧な指導が受けられます。また、他大学の医学生と合同研究発表会で交流する機会もあります。いくつかの研究室を見学したうえで、今は生体調節研究所の個体代謝生理学分野でお世話になっています。研究を通じて身に付けた考え方や見方は、臨床の場でも役立つだろうと考えます。

	時 間 割				
	月	火	水	木	金
1~2					
3~4	消化管	肝臓脾	産婦人科学・周産期医学	血液学・リウマチ膠原病学	内分泌代謝・乳腺
5~6					
7~8	皮膚・形成外科	脳・神経学	研究	臨床試験・臨床研究	チームスキル演習
After school				課外活動(不定期)	研究

# カリキュラム CURRICULUM

医学科では、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の探求とそれらの統合による医学の研究と教育の推進並びに医学と医療をリードする人材の育成を目指しています。



※随時カリキュラムの改善を図っており、今後変更になる可能性もあります。

GLOBAL

国際的  
視野を持つ  
学生を応援!

**◆ グローバルフロンティアリーダー (GFL) 育成プログラム**

自国および他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人 (グローバルフロンティアリーダー) を養成するコースです。入学後に選考が行われます。



WEB PAGE  
GFL 育成  
プログラム

**◆ 海外留学**

夏休みを利用してインドネシアやコロンビアなどの大学や病院を訪ね、海外医療の現場を体験することができます。海外の医療の実情を学び、他国の医学生と友達になるチャンスです。

**◆ 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) ～このような教育を行います～**

- <教育の目標>
- 医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽する力が付く教育
1. 自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身に付く教育
  2. 自然科学、医学、医療、人間と社会に関わる知を習得し、それを実践でいかす力が身に付く教育
  3. 新たな課題にも対応できる問題解決能力が身に付き、リサーチマインドが育つ教育
  4. 生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育
- <教育課程の編成>
1. 教養教育科目では幅広く深い教養、総合的な判断力、自然との共生を基盤とした豊かな人間性を涵養する。
  2. 専門教育科目では、講義と実験、実習を通して医師、医学系研究者、医療行政担当者として社会に貢献するために必要となる知識、技能、態度を身につけさせる。
  3. 臨床実習では、共用試験に合格し、Student Doctorと認定された学生が実践的な知識と技能を学ぶとともに、医師にふさわしい態度を身につけさせる。
  4. 6年間を通して、医療安全、医療倫理、多職種連携の学修機会を提供する。
  5. カリキュラムツリーやカリキュラムマップを用いて、教育課程の体系的な構造を明示するとともに、各科目の教育内容をシラバスに詳述する。

## PICKUP CURRICULUM

**教養教育・人間科学・専門基礎**

医師には事実を客観的に捉えて分析し、既知の部分と未知の部分明らかにした上で、問題解決の道を探求する科学者としての態度が必要となることは言うまでもありません。一方、臨床の現場での問題解決では、前もって用意されている正解があるわけではありません。一人ひとりの患者さんが満足できる医療を提供するためには、病気を抱えた人の気持ち、その生活様式や社会的背景までも細やかに理解しようとする態度が不可欠です。本学では特に社会の現実の中で生きる他者の生へと関心を向け、心情を想像する力、人とのコミュニケーションの図り方、自己表現力、他者のニーズに対して柔軟に対応する仕方を学びます。医師になろうとする者に必要な基本的な素養を身につけていきましょう。

**医師に求められる素養**



科学者としての素養



人と社会を理解する文化的な素養

人類がこれまで築き上げてきた種々の学問(文化)を学び素養を身につける

教養教育

人間科学

体験実習

**生命科学**

解剖学、生理学、病理学、細菌学、法医学等さまざまな専門分野を学びます。医学を理解するには、まず正常な人体の構造と機能を学ばなければなりません。これらの基盤の上に、病気の原因やその成立過程を理解するために、通常の営みと異なった状態についても学んでいきます。また、公衆衛生学等で、健康に対する社会としての取り組みについても学びます。

**臨床医学**

循環器疾患、呼吸器疾患、内分泌・代謝疾患、神経・精神系疾患等の幅広い疾患について、病態を理解しながら病気の症状や診断、治療等について学びます。診察や救命救急等の基本的な臨床手技の修得にはシミュレータも活用しています。4年次までの科目の全てに合格し、全国共通の試験である共用試験 CBT (※1)、臨床実習前 OSCE (※2) に合格すると、臨床実習生 (医学) および Medical Doctor Candidate として認定されます。

**医学研究実習**

少人数班で研究室に所属し、医学研究の基本的技術やデータの解析方法について実習形式で学びます。医学研究に興味のある学生は、MD-PhD コースに進むこともできます。

**臨床実習**

臨床実習生 (医学) に認定されると、医療チームの一員として診療参加型臨床実習に参加する資格が得られます。指導者の監督のもと附属病院および県内外の臨床実習協力施設で研鑽を積みながら、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を身につけます。

臨床実習を修了し、全国共通の実技試験である臨床実習後 OSCE、実践臨床講義、卒業試験に合格すると晴れて卒業となり、医師国家試験の受験資格が得られます。ただし、国家試験の合格は医師としてのスタートラインに立てたことを意味するに過ぎません。生涯を通じて学び、社会に貢献する医師、研究者、教育者、医療行政担当者になってほしいと思います。

## 医学科教員紹介

TEACHERS



小児科学 滝沢 琢己 教授

### 小児科医の活躍は日本の未来につながります

小児科は、子どもの内科診療を担うのみならず、学校や行政と協力して子どもたちの社会生活全般を支える役割をも担っています。学問的に幅広い分野をカバーしていることに加え、公衆衛生や教育などにも関わってくるため、全ての小児科医が自分の能力を生かせる場を見つけられると思っています。そして、自分の能力を生かすことが日本の未来につながると考える、やりがいのある分野です。医師は、常に学び、学んだことを医療の現場に還元していくことが仕事です。ですから、“学ぶ”ことを楽しいと思える医療従事者になってほしいと思いながら教壇に立っています。

本学は、充実した学習スペースや、教師が学生一人ひとりに寄り添うチューター制度などがあり、学生の生活と勉学をサポートする環境と体制が整っています。また群馬県は、首都圏も近い一方、自然も豊富です。物価も全国的に見ると低いので、学生にとって生活しやすい場所だと思います。そんな恵まれた環境の中で、好奇心と良心を持って学び続け、人には優しく、自分には厳しい、スキルと人徳を兼ね備えた研究者や医師に育って行ってください。



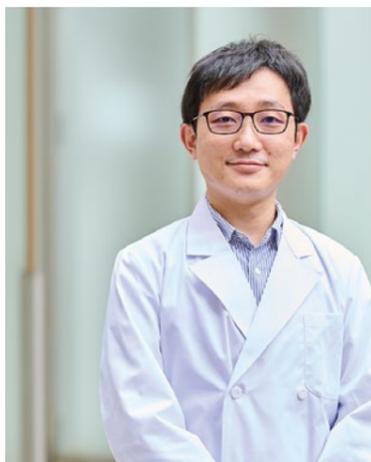
皮膚科学 遠藤 雪恵 講師

### 自らの限界を決めず、チャレンジしてください

都心へのアクセスも良好な、『水と緑と詩のまち』として知られる自然豊かな文化都市・前橋にある本学。学びに没頭できる環境の中、単純な医学知識にとどまらず、医師、研究者、教育者として真に必要な「総合力」を培うことのできる充実したカリキュラムを用意し、全人的な学びをバックアップしています。附属の大学病院は県内外から多くの患者さんが集まる拠点病院であり、重粒子線がん治療など多くの先進医療を含む最新の医療を、第一線で活躍する先生方が教授し、医療の現場に貢献できる医師を育成しています。

私の担当する皮膚科学は、皮膚に関連する問題全般を扱います。皮膚に起こる現象は実際に目で見ることができ、また、病理検査により細胞レベルで現象をとらえることも比較的容易です。これらの豊富な視覚情報から皮膚の、ときには内臓の難解な病気を探り当て、治療に結び付いたときに喜びを感じます。

学生たちには、真摯に仕事に向き合うことの大切さと仕事の面白さを伝えたいと思っています。高い意識で自らの課題に向かい、患者さんや医療チームメンバーとの対話を大切に、相手の状況を理解して行動できる医師になってください。



細菌学 橋本 佑輔 助教

### 本学は基礎医学研究の場としても魅力的です

本学は、スタッフ、施設を含めた学習環境が整っており、基礎医学研究者としての観点からも、さまざまな分野においてトップランナーの研究者がいらっしや最先端の研究に触られる機会があるというメリットを感じます。私は細菌学の講義と実習を担当しています。その際には、例えば、肺炎における病原性因子(=基礎医学知識)がいかに胸部画像所見・臨床症状につながるのか(=臨床医学)、薬剤耐性因子(=基礎医学)がどのような医療行為で患者にいかんして広がるのか(=臨床医学)といったような、基礎・臨床医学の架け橋となるような知識の伝授を心掛けています。医学の道を志す学生たちには、患者さんを全人的に見つ、その方が患っている疾患や臨床現場で起きている事柄について、確かな基礎的知識で洞察できる医療従事者になってもらいたいと考えています。私は本学の卒業生ですが、在学中は多くの学友に恵まれました。勉学に限らず人と人との交流を培うことは医療を行う上で重要な素養になると思うので、ていねいに学生時代を過ごしてください。また、基礎医学研究に少しでも興味のある人は、臆せずその分野の教室の扉を叩き、自らの興味と可能性を広げてください。

## 卒業生メッセージ

OB・OG MESSAGE



### 幅広く患者さんの健康を守る医師に

高橋 健夫 先生  
1988年卒業  
埼玉医科大学総合医療センター  
放射線腫瘍科 医師・教授

学生時代にがん治療に興味を持ち、特にがんを切らずに治すことに大きな魅力を感じました。また、新たながん治療を開発するための基礎研究に携わりたいと思い、将来発展するであろうと感じた放射線科(現・放射線治療科)の道へ進みました。現在は、臨床面では放射線治療を用いたがん治療を、研究面では高精度な放射線治療の開発を行っています。加えて、放射線治療医の育成に携わり、学会の理事として、わが国における放射線治療の啓蒙ならびに普及に力を尽くしています。

学生の頃、スキー部・陸上部の仲間と目標目指して切磋琢磨したことや、基礎医学の研究室に通い学べたことは、人間としての成長や研究者の道を進む上で大変貴重な経験だったと感じています。



### 大学で得た国際的視点や語学力を生かして

手代木 秀太 さん  
2022年卒業  
経済産業省  
経済産業政策局 企業行動課

在学中の大学院 公衆衛生学教室での研究活動やグローバルフロンティアリーダー育成プログラム(※)を通じて、行政が人々の健康と生活に与える影響や、日本を取り巻く環境がダイナミックに変化する中で国民生活の豊かさを維持・拡大する方途について考えるようになり、国家公務員を目指しました。現在は、研究開発税制やスタートアップ関連税制といった税制の特例措置を企画立案する部署で、OECD・米国・英国・オランダ等のカウンターパートや企業を直接訪れ議論を交わしながら、現場に根差したあるべき日本の税制について検討を行っています。大学時代に徹底して教育された「相手の立場に立って物事を考える」姿勢は、国家公務員にとって最も重要な価値観の一つです。国民の皆さまのお役に立てるよう、これからも精進しつづけていきます。

※グローバルフロンティアリーダー育成プログラムの詳細はP.8を参照。

### ● 医師国家試験合格率(新卒者)

2023年  
医師国家試験 合格率

93.8%

(94.9)

※( )内 全国平均

▶ 医師国家試験合格率推移

	群馬大学 (%)	全国 (%)
2023	93.8	94.9
2022	99.1	95.0
2021	91.2	94.4

▶ 医師国家試験受験者数と合格者数推移

	受験者数(人)	合格者数(人)
2023	130	122
2022	108	107
2021	136	124

主な就職先

群馬大学医学部附属病院  
前橋赤十字病院  
国立病院機構高崎総合医療センター  
国立研究開発法人国立国際医療研究センター  
東京医科歯科大学医学部附属病院  
自治医科大学附属さいたま医療センター  
獨協医科大学埼玉医療センター 他

### ◆ 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) ~このような人材を育てます~

〈学位授与の条件、達成度・能力評価の基準〉

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

〈学修成果の目標〉

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面(SES)にわたって生涯自己研鑽を続けることができる者

具体的には、次のとおりです。

1. 医師にふさわしい倫理観と責任感を有し、医療チームの中で医師として適切な行動をとることができ、他者と信頼関係を築ける者
2. 医師、医学研究者、医学教育者又は医療行政担当者となるために必要な知識を身に付けるとともに、新たな課題にも対応できる問題解決能力を修得した者
3. 医学知識に裏打ちされた臨床と研究の能力を修得し、患者により良い医療を提供する能力と、医学や医療の発展に貢献する意欲を備えた者

# 保健学科

SCHOOL of HEALTH SCIENCES

国際的保健学研究の拠点形成  
 高度専門医療人の養成  
 チーム医療教育の推進  
 地域包括ケアシステムの支援

## 保健学科が重視する“Teamwork”



- Nursing 看護学専攻
- Laboratory Sciences 検査技術科学専攻
- Physical Therapy 理学療法学専攻
- Occupational Therapy 作業療法学専攻

保健学科は「看護学専攻」「検査技術科学専攻」「理学療法学専攻」「作業療法学専攻」の4専攻から構成されています。いずれの専攻においても、学修を通して、豊かな見識を持ち、人間の尊厳を尊重する、全人的医療を担う人材を育成します。専門的な知識・技能を有し、高度化・専門化する保健医療の担い手となる人材、また、チーム医療においてリーダーシップを発揮できる人材、国際社会でも活躍できる専門職を育てていきます。



## 学科長メッセージ



### 私たちは世界トップレベルの保健学の研究・教育機関を目指す！

— Diversity & Inclusionの社会実現 —

保健学科長 齋藤 貴之

現代ほど、保健学の重要性が注目される時代はありません。保健学は疾患予防や健康増進について情報や手段を提供することで、個人だけでなく、社会全体の健康に貢献することができます。人間を身体面のみならず、精神的、社会的側面からも把握し、健康の維持、疾病の予防・診断技術・治療・リハビリテーション、さらには介護予防を探究する全人的医療の学問です。

群馬大学保健学科は、「トップレベルの専門の研究・教育力」をベースとした「群を抜いた国際交流」、「附属病院・研究所との緊密な連携」、「日本有数の充実した大学院制度」、「WHO認定のチームワーク教育」、「先進的なデジタル教育」など先進的な取り組みを行っています。

高度専門化の進む医療現場ではそれぞれの医療職種が国家資格の認定を受け、多方面から医療に携わっています。それぞれの職種が専門技術を向上させ、チームワークで連携する事で初めて、人々が安全安心の医療を受けることができます。保健学は、Diversity&Inclusionの社会、個々の「違い」を受け入れ、認め合い、一緒に生きていく社会を目指します。是非、私たちのもとで、保健学を学び、保健学を進展させ、一緒に社会をより良い方向に進めましょう。全人的医療を世界に広げましょう。

## 本学保健学科のココがすごい！

### 1. 国立大学のなかでも群馬大学の保健学科はBig!

医学部を持つ国立大学(42校)のなかでも群馬大学の保健学科・保健学研究科は規模が大きく、医学系研究科と独立した保健学研究科を持つ。

入学定員数は学科も研究科も上位(10位以内)にランキング。それだけ、優秀な人材が生まれる。

### 2. 医学科と保健学科の両輪に加えて医学部附属病院、研究所をもつ

地方国立大学附属病院が立地している中では規模の大きな前橋都市圏に立地。

そのため、地方国立大学の中では病床数も多く、それだけ実習や研究に有利な環境。

### 3. 世界に発信する研究成果、最近注目される「群馬」の最先端大学

G7群馬高崎・デジタル・技術大臣会合が開催、保健学科もデジタル技術展に出展。

保健学研究科はWHO協力センターであり、多職種連携に強く、国際的な研究も多数発信。

保健学科について  
 詳しくはWEBをご覧ください



# 教育の特徴 CHARACTERISTICS of EDUCATION

## POINT 01 グローバルに活躍する若手リーダーの育成

GFL(Global Frontier Leader)を毎年、保健学科から生み出しています。多角的な視点で国際理解を深め、世界を開拓する次世代のリーダーを育てます。ハワイ大学、ディーキン大学、モンゴル国立医科学大学、ワシントン大学、フィリピン大学などへ留学や国際交流を行っています。



## POINT 02 WHO協力センターの指定を受けたチーム医療教育

全人的医療を基盤として、医学、保健学、薬学など他専攻からなるチームを学生からつくりあげ、互いの価値観を理解しながら、チームビルディングを構築し、患者中心のチーム医療を学習していきます。



## POINT 03 地域包括ケアシステムを担う人材教育

誰もが住み慣れた地域で安心して生活するための医療・保健・福祉領域を包括的にカバーする人材を教育します。実習の場も医学部附属病院、在宅ケア機関、高齢者施設、行政機関と幅広く多様です。また、地域を支える学生保健学サポーター養成も行っています。



## POINT 04 ベーシックからアドバンスにむかう教育

教員は臨床経験豊富なだけでなく、その領域のスペシャリスト・研究者です。基本をきちんと教育するだけでなく、その中から主体性、向上心を育て、将来、高度な医療専門職を目指す力を育てます。



## POINT 05 さらに研究力を育む大学院進学への道

入学からアカデミックライティングを学び、専門科目でプロとしての知識・技術を習得するだけでなく、卒業研究を通じて探究心を磨きます。将来的に発見・発明を行う研究者を目指したい人には大学院進学への道が開かれています。



## POINT 06 「あなた」を支えるチューター制度

担当の教員が1年生から4年生まで学習や就職、進学、悩みなどをサポートします。



### STUDENT'S VOICE 看護学専攻

#### それぞれの妊婦に寄り添える助産師に



菅沼 歩実  
保健学科 看護学専攻 4年  
栃木県立鹿沼高等学校 出身

本学では4年の学びの中で、看護師に加え助産師または保健師の資格取得も目指すことができます。またチューター制度があり、学生一人ひとりに担当教員が付くため、初めてのだらけの大学生活でも心強いです。附属病院で働く専門看護師や認定看護師の方や地域で働く看護職の方などからのより実践的で現状に基づいた講義もあり、教科書にはない学びが多く得られます。日頃の授業の中に国家試験に向けてのポイントが取り入れられていることもありがたいです。

		時間割				
		月	火	水	木	金
1~2	助産診断・技術演習II		助産管理論	助産診断・技術演習VI	助産診断・技術演習I	助産診断・技術演習V
3~4						
5~6				周産母子論	助産診断・技術演習III	助産診断・技術演習IV
7~8						
9~10						卒業研究II
After school						

### STUDENT'S VOICE 検査技術科学専攻

#### 学びの「機会」と「環境」を生かしています



二宮 佳凜  
保健学科 検査技術科学専攻 4年  
群馬県 常盤高等学校 出身

新型コロナにまつわる臨床検査技師の活動をテレビで見て憧れ、入学しました。本学は資格取得のみならず実践の場で学ぶのが得られる点と、Laboratory Scientistsとして病院以外の就職の選択肢も広く見据えることができる教育が行われているのが特徴であり、魅力です。将来は広い視野を持ち、専門を生かして国内外で活躍したいと考え、GFLをはじめ、語学力やコミュニケーションスキル、リーダーシップなどを身に付ける活動に取り組んでいます。

※GFL:グローバルフロンティアリーダー育成プログラム。詳細はp8参照。

		時間割				
		月	火	水	木	金
1~2					遺伝子検査学	細胞診断学I
3~4	臨床生体機能学III			臨床化学II	検査管理理論	RI検査技術学
5~6	病原生物学	地域保健医療推進論		臨床生体機能学V		チームワークトレーニング
7~8	病原生物学実習	生体防御学実習				
9~10						
After school						

# カリキュラム CURRICULUM

保健学科は保健医療の専門職として、高い知識と技術、  
確固たる倫理観と豊かな人間性を持ち、社会的使命を果たすことのできる人材を育成します。

## 看護学専攻

医療・保健の現場で看護の専門性を発揮できる能力と  
地域完結型看護の実践力を育成

- 看護師コース
- 保健師コース (定員40名)
- 助産師コース (定員8名)

### 看護学教育の特徴

基礎から応用まで段階的に看護の専門的知識や技術を学びます。人間のライフサイクル各期(母性、小児、成人、老年)における看護、そして地域・在宅・精神看護、国際的な医療にも対応できるような教育を行います。

### 主な科目と4年間の流れ

- 1年次** 早期体験実習
- 2年次** 基礎看護学実習 生活を理解する実習
- 3年次** 成人・老年・母性・小児・在宅・精神実習
- 4年次** 地域看護学実習・助産実習・総合実習

### 知識や技術が効率よく修得できるカリキュラム構成

看護職を目指す講義、演習、実習等を行います。

#### 看護早期体験実習

附属院内の外来・病棟での健康障害を持つ人との関わりから、看護の役割について学びます。看護の現場を早期に知ることで、これからの看護学の学習への動機づけを促します。



#### 看護学総合実習

県内を始め国内外の病院・関連施設で実習を行います。卒業に向けて、現場の看護職としての、チーム間の連携を含めた総合的な看護実践能力の向上と地域を問わず質の高い看護・医療の提供に向けた指導を行います。



## 検査技術科学専攻

国際的な活躍ができる  
臨床検査技師育成を目指す

臨床検査技師となるために必要な知識の地盤を固め、  
大学病院で最先端の検査を学ぶことができます。

### 検査技術科学教育の特徴

日進月歩で発展する検査技術科学分野の専門知識や技術を学び、検体検査および生理機能検査をマスターして、高度専門化した医療に対応できるような教育を行います。また、細胞検査士養成コース(定員5名程度)も設置しています。

### 主な科目と4年間の流れ

- 1年次** 臨床検査総論実習 (尿検査等)
- 2年次** 専門科目実習 (病理、血液、微生物検査等)
- 3年次** 専門科目実習 (生化学、超音波、輸血検査等)、附属病院での臨床実習
- 4年次** 卒業研究

### 全人的医療×チーム医療

確固とした倫理観と豊かな人間性を持ち、高度な技術と知識を備えた臨床検査技師育成を目指します。そこで、遺伝子検査や画像解析などの最新検査技術の教育に力を入れています。さらにチームワーク実習を通じて、チーム医療の重要性を指導しています。



### 卒業研究(1年間)

各教員の指導のもと研究を行い、論文作成・発表を行います。これにより十分な研究手法および研究的思考法を習得し、将来研究職・教育職につく人材育成が可能です。

### PICKUP

#### 国際社会で活躍できる人材育成

英語論文の輪読などとおして、英語による口頭・紙上発表の基本を学びます。また、ワシントン大学医学部臨床検査学科との交換留学も実施しています。

## ◆教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー) ~このような教育を行います~

知性と行動力を備えた人間性豊かな保健医療人材の育成を目指し、次のような教育を行います。

1. 保健医療専門職としての倫理観を涵養し、専攻分野に必要な基礎力を育成する教育
2. 保健医療専門職として主体的に行動し、総合的な判断ができる人材を育成する教育
3. チーム医療を推進する一員としての意識と円滑な協働関係を築く力を育成する教育
4. 多様な地域社会の中で、グローバルな視点から保健医療の諸課題に対応できる人材を育成する教育

## 理学療法学専攻

新しい機能回復の理論、技術の  
研究・開発能力を育てる

### 理学療法学教育の特徴

専門職としての態度や実践的な技能の修得が円滑に図れるよう、科目の枠を超えた教育を心がけ、机上での学習だけではなく、臨床での体験や実習などとおした能動的な学習への支援を重視しています。



### 主な科目と4年間の流れ

- 1年次** 理学療法概論 グループ(1日)※教師引率
- 2年次** 早期体験実習 グループ(6日)※教師引率
- 3年次** 基本的臨床技能実習Ⅰ(OSCE)試験 基本的臨床技能実習Ⅱ グループ(3日)※教師引率 臨床実習Ⅰ 学生2名ずつ(2週間) 臨床実習Ⅱ 学生1名ずつ(3週間)
- 4年次** 応用的臨床技能実習(Advanced OSCE)試験 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ 学生1名ずつ(8週間)

### PICKUP

#### 参加型授業

理学療法学専攻ではグループワーク、実技練習がたくさんあります。

#### グループワーク

##### PBL入門

基礎医学的な知識の統合

#### グループワーク・実技

##### 症例基盤型実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

それぞれの対象についての理学療法評価と治療の臨床思考過程と基本的技術を習得

## 作業療法学専攻

生活障害を持つ人々の健康と幸福を促進する  
支援技術を学ぶ

### 作業療法学教育の特徴

作業療法には、「身体障害」「精神障害」「発達障害」「高齢期の障害」の4つの領域があります。体験をとおした参加型の実習によって、いずれの領域でも活躍できる知識・技能を学びます。米国、モンゴル、フィリピン、台湾、韓国などの多くの海外の大学との交流や一部の卒業研究での英語での発表など、国際的な視野に立った教育も行われています。

### 主な科目と4年間の流れ

- 1年次** チームワーク原論
- 2年次** 基礎・臨床医学見学実習(1週間)
- 3年次** 評価実習(3週間) 地域実習(1週間)
- 4年次** 臨床技術実習(OSCE)試験 総合臨床実習(8週間×2) 国家試験対策

### 基礎的な知識や医療人としての態度を習得した後、確かな臨床技術と高度な研究力を養う

### 指導法

国立大学ならではの少人数制を生かしたきめ細かな指導を行っています。

### 基礎作業療法学実習

作業療法学の治療で用いられることの多い作業活動の技法を習得し、それらを各種障害に対して治療的に応用していくための実践方法について学習します。



## STUDENT'S VOICE

### 理学療法学専攻

### 目指す理学療法士像に近づいています



杉本 慈  
保健学科 理学療法学専攻 3年  
東京都立青山高等学校 出身

学生数に対して教員数が多いため、深い学びが得られます。現場経験豊富な先生方が、理論だけでなく実践的な知識や技術を伝えてくださいます。20人という少数だからこその、きめ細かなサポートや質問しやすい雰囲気も魅力です。本学はチーム医療教育が盛んである点もメリットです。「チームワークトレーニング」では異なる専門分野の学生たちと共に学ぶことができ、現在の医療現場で重要な、他職種と協働する力やコミュニケーションスキルが身に付きます。

### 時間割

	月	火	水	木	金
1~2			臨床理学療法学Ⅱ(病態障害学)	整形外科Ⅱ	
3~4	臨床運動学			神経内科学Ⅱ	
5~6	グループ学習	自己学習	臨床理学療法学Ⅰ(神経系) / 臨床理学療法学実習Ⅰ(神経系)	臨床理学療法学Ⅱ(運動器系) / 臨床理学療法学実習Ⅱ(運動器系)	チームワークトレーニング
7~8			臨床理学療法学実習Ⅰ(神経系)	臨床理学療法学実習Ⅱ(運動器系)	
9~10			臨床理学療法学実習Ⅰ(神経系)	臨床理学療法学実習Ⅱ(運動器系)	
After school					

## STUDENT'S VOICE

### 作業療法学専攻

### 仲間と助け合いつつ学びを深めています



瀧田 乃愛  
保健学科 作業療法学専攻 3年  
富山県立大門高等学校 出身

オープンキャンパスで教授と先輩方の親密さを感じ、実際に皆さんと関わってみて、私もこんな環境で学びたいと思い入学しました。講義はどれも、興味を持ちながら楽しく学べるように工夫されていて、熱心に教えてくださるため、毎回あつという間に感じるくらい集中できています。実習では、実際に体を動かしたり触れたりすることを通じて要点を理解することができます。患者さんの「できるようになりたい」を大切に、共に歩める作業療法士を目指します。

### 時間割

	月	火	水	木	金
1~2				整形外科Ⅱ	
3~4	作業療法治療学演習Ⅳ(ADL・生活行為)		精神医学Ⅲ	神経内科学Ⅱ	作業療法治療学Ⅲ(老年・高次脳系)
5~6			作業療法治療学Ⅰ(身体障害系)	作業療法治療学Ⅳ(発達障害系)	チームワークトレーニング
7~8		作業療法治療学Ⅱ(精神障害系)			
9~10					
After school	アルバイト	部活動	アルバイト	部活動	

## 保健学科教員紹介

TEACHERS

## 臆さず「自分の意見」を表現してください



看護学専攻 伊東 美緒 教授

主に老年看護学に関する授業を担当し、また、認知症ケアに焦点を当てた研究に取り組んでいます。認知症になると大変と言われますが、周囲の人々の理解と対応によって認知症症状が軽減することは少なくありません。認知症の人の症状が落ち着き、ご本人やご家族が喜ばれると、こちらも嬉しくなります。

学生の皆さんには、「これまでのやり方を踏襲する」のではなく、「目の前で起きている事象を客観的に観察し、これまでの治療やケアのあり方をどのように変えることが望ましいのかを共に検討する」医療人へと成長していったほしいと考えています。教員の意見に合わせる必要はありません。自身の意見を述べられるようになってください。自ら情報を集め、思考し、同級生や教員と大いにディスカッションを楽しみましょう。

## 「共感力」を持って考えることが大切です



看護学専攻 塚越 徳子 助教

手術療法を受けることは心身の大きな負担となります。術後にスムーズに社会復帰できるよう、その方の持つ回復力を支える看護が重要です。その際、その方の生き方や暮らし方を知ることが、より効果的な看護につながります。

大学では、講義・演習・実習の経験を重ねることで、知識や技術とともに、人間性や社会性を養います。そのため、できるだけ最新かつ正しい看護・医療の知識・技術を伝えられるよう心掛けています。また、「この人のためにどのようなことができるだろうか」と思いやりを持って考えられるよう指導しています。

臨床現場では、多彩な背景を持つ医療従事者や患者さんと接します。大学生のうちから、さまざまな価値観や文化を持つ人と交流を持ち、柔軟性や視野の広さを自分の強みとしてください。

## 支援対象者から学ぶことも多々あります



理学療法学専攻 山上 徹也 教授

生活環境支援学では、食事や排泄などの日常動作が病気や障害で困難になった方に、再度行えるよう支援することを学びます。リハビリにより機能回復を促すだけでなく、杖などの福祉用具や住宅改修などの環境調整も含めてアプローチします。

地域リハビリテーションは、病気や障害があっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることを支援するものです。近年は、健康寿命を延ばすための介護予防事業等にも携わっています。

学生たちには、「病気」だけでなく、「その人全体」を見て支援できる医療従事者になってほしいと願っています。そのためにも、いろいろな人と関わり、柔軟な考え方を身に付けてください。支援対象者を理解し、「その人らしさ」を尊重した支援ができたとき、やりがいや喜び、成長を感じられることでしょう。

## 科学の視点と温かな心を持ってください



理学療法学専攻 朝倉 智之 助教

臨床的な面では、脳卒中や難病、脊髄損傷等を中心とした神経系理学療法を中心に授業を担当しています。また、動作解析に関する授業や研究を行っています。近年は動作解析に関するデバイス(機器)も発展してきており、人がどのように運動、動作しているのか、そのバイオメカニクスの分析に役立ちます。これらの有効活用は、より良い理学療法やトレーニングの開発、ひいては対象者のパフォーマンス向上に貢献することが可能です。

科学的な視点を大切にしながら、温かい心で患者さんに接することのできる理学療法士になってください。そのためにも、大学にいる間に多くの友人や教職員、地域の方々と触れ合い、さまざまな考え方に接してください。それらの経験が、卒業後に、患者さんを理解し寄り添おうとする姿勢につながるはずです。

## 科学的思考力を持った臨床検査技師へ



検査技術科学専攻 豊村 暁 准教授

講義は医用電子工学などの物理系科目や、教養教育科目を担当しています。物理学は科学やテクノロジーの基礎であり、医療技術の発展とも深く関わります。私はヒトを対象とした神経科学研究を行っています。本学は研究が盛んで、さまざまな先生方がさまざまな切り口で研究を進めており、多様性が魅力です。医学研究に興味のある学生さんは、ぜひ本学の門を叩いてほしいと思います。

検査技術科学専攻では、4年間の学修の後、臨床検査技師の免許を取得しますが、せっかく国立大学に来て学ぶのですから、単なるテクニシャンを目指すのではなく、深い科学的な思考を持ち、現象のメカニズムを説明できる理系的な人間になってほしいと考えています。

## “人”や“状態”を感じられる検査士に



検査技術科学専攻 小林 さやか 助教

病理組織・細胞検査の実習と、細胞検査士養成コースを担当しています。病理組織検査は、患者さんから採取された組織から、医師が診断するための標本を作製します。質の高い標本を作ることが、質の高い診断につながります。細胞診検査は、患者さんから採取された細胞を顕微鏡で見て診断します。がん細胞を含めさまざまな細胞の特徴を勉強し、実際に顕微鏡で細胞を分類していきます。多くの良性細胞の中から異常な細胞やがん細胞を見つけ出すことが、的確な診断を可能にします。

患者さんに直接接することがない検査であっても、採取された組織や細胞から患者さんの状態を把握し、感じられる医療従事者に育てたいと考えています。日々を積極的に送ることで多くの経験を得て、自身を成長させ、豊かな人間力を磨いてください。

## 自分の可能性に気づき、活躍する未来を



作業療法学専攻 李 範爽 教授

私が担当する身体機能作業療法学では、心身機能の回復や福祉用具の導入など、身体に障害を持つ方々が自立した日常生活を営むために必要な支援について学びます。患者さん一人ひとりにとって最適な支援を選ぶプロセスが学べる科目です。

学生の皆さんには、自らの仕事に誇りを持てる職業人になってほしい。そのためにも、自分の仕事内容を他者に分かりやすく説明できること、患者さんの気持ちや不安を知ろうと努力すること、繰り返しのなかから生まれる創造の喜びを体験することが大切です。多くの人と交流することでさまざまな価値観や文化に触れ、自分の潜在能力や将来の可能性に気付いてください。その経験を活かし、卒業後は臨床や教育、研究など幅広い分野で活躍してほしいと願っています。

## 傾聴力、分析力、提案力を備えた医療人材に



作業療法学専攻 十枝 はるか 講師

発達障害(神経発達症)に関連する作業療法を担当しています。発達障害を持つ子どもたちへのより良い関わり方を一緒に学んでいきましょう。人の発達の仕方を学び、各発達障害の発達特徴を知り、その人の得意分野を伸ばしていく方法、さらには、発達障害を持つ子どもと共に生活をしている保護者や園・学校の先生方とも協働し、地域全体で子どもの育ちを応援する仕組みも考えていきたいと思っています。エビデンスの蓄積も十分ではない新しい分野ですが、だからこそ、学生さんの新鮮な感性と発想でより良い支援の在り方をつくり出していける面白さがあると思います。

大学では、同じ志を持つ仲間と一緒に、やりたいことに何でもチャレンジしてください。楽しさや悲しみを分かち合う中で、諦めない心が育まれ、自分の新たな一面も発見できることでしょう。

# 卒業生メッセージ

OB・OG MESSAGE

## 大学での学びが現場での仕事に生きています



**宮一 桐子 さん**  
2023年卒業  
(看護学専攻)  
群馬大学医学部  
附属病院 看護部  
看護師

テレビで看護師のドキュメンタリー番組を見て、患者さんと真剣に向き合い働く姿がカッコいいと思い、看護師を目指しました。現在、群馬大学医学部附属病院で働いています。食事介助、体位交換、入浴介助、カルテ入力、調剤、点滴投与、経管栄養投与などを行っています。入職して日が浅く、まだまだ分からないことばかりですが、先輩方に看護技術や日々の業務内容を丁寧に教えていただき、自信を持って提供できるケアが日に日に増えていくことを嬉しく感じています。

大学では、多くの講義や実習を通して、看護の知識やケアの技術を学びました。チームワーク実習では、他専攻の学生ともグループワークを行い交流する中で、職種ごとの専門性や、多職種連携での看護師の役割などを学ぶことができました。現場に出てみて、大学で学んだ知識や技術、視点は、どれもとても大切なものであったと実感しています。

今後経験を重ねる中で、正確で安全な、より質の高い看護ケア技術を身に付けるとともに、個々の患者さんに向き合い、信頼される看護師へと成長していきたいです。



## 患者さんの「おかげさまで」の言葉が嬉しい

**和田 直也 さん**  
2019年卒業  
(理学療法学専攻)  
医療法人一羊会  
上武呼吸器科内科病院  
診療部リハビリテーション課 理学療法士

現在、仕事では、呼吸器疾患を中心とした、内部障害を抱えた患者さんに対するリハビリテーションを担当しています。また、仕事と並行して、大学院においてスポーツ傷害予防のための研究を行っているほか、週に1回小中学生のサッカーチームでトレーナー活動を行っています。もともとスポーツが好きで、スポーツに関わる仕事がしたいと今の道に進んだこともあり、充実した日々を送っています。理学療法の仕事は、業務の中で学ばば学ばだけ得られるものがあること、それを患者さんに還元できる喜びが、やりがいです。悩み、考え抜いて介入した患者さんの状態が良くなれたときは本当にうれしいです。

大学時代、自ら学び試行錯誤する学習の場に身を置いたことで、「調べる」「まとめる」「疑問を持つ」力が身に付きました。臨床においても、疑問を持ち調べて応用したり、一つの答えにとらわれず広い視野で考えることにつながっています。

今後も「学び続ける姿勢」を持ち続けていきたいです。近い目標としては、まずは大学院博士課程の卒業を目指しています。

## 見識の広がりがある今の自分をつくっています



**大川 貴史 さん**  
2022年卒業  
(検査技術学専攻)  
群馬大学大学院  
医学系研究科数理データ科学博士課程 在学中

私は、ヒトの病気の研究に興味があり、専門的で幅の広い知識と、細胞や検体を用いた研究技術のどちらも学べる環境に身を置きたいと考え、この大学を選択しました。現在は、大学院に通っています。具体的な研究内容としては、群馬県、および群馬大学大学院保健学研究科と連携し、群馬県が持つ医療ビッグデータを解析しています。データの解析や考察はもちろん、県との連携会議で、解析のプロセスや、効果的な施策をプレゼンしたり、プログラミングを用いて新しい解析システムを作成したりしています。さまざまな経験を経る中でコミュニケーションの輪が広がっていき、多くの人と意見交換をすることで自分にはない新しい考えを知ることができるので、充実しています。

検査技師というと病院で働くというイメージが強いですが、検査技師の持つ医療知識にプログラミングの知識を加え、2つの専門性を身に付けることで臨床検査技師の新しい働き方を切り開いていくとともに、チャレンジしたい意欲を持つ人を応援できるような教育をしていきたいと考えています。



## 更なる成長を目指して仕事の傍ら大学院へ

**大月 千怜 さん**  
2020年卒業  
(作業療法学専攻)  
公益財団法人脳血管研究所附属  
美原記念病院  
リハビリテーション部 作業療法士

現在の配属は回復期病棟で、主に脳卒中の患者さんのリハビリを担当しています。病気になって障害が残った患者さんの機能回復のリハビリや、生活に必要な動作の練習、家に帰る際の環境の提案などを行っています。退院された患者さんが外来に受診に来られ、私と顔を合わせた際に、「今、こんな生活をしているよ」「病院で一緒に練習したから、家でもやってるよ」など、退院後の生活について嬉しそうに話される姿を見ると、こちらも嬉しくなるとともに、自分の仕事にやりがいと誇りを感じます。

大学時代を思い返すと、卒業研究が特に印象に残っています。基礎研究を行ったのですが、物事の考え方や、結果の解釈の仕方、人に分かりやすく伝えることの大切さを学びました。それらは、臨床の現場に従事している今も、業務の中で役立っています。

自分に何らかの“強み”があったらより良い仕事ができると考え、現在、働きながら大学院に通っています。現場で尊敬する先輩方のようになれるよう、業務経験を積み、大学院での学びも活かして、作業療法士として一層成長していければと思います。

### ● 国家試験の2023年 合格状況 (新卒者)

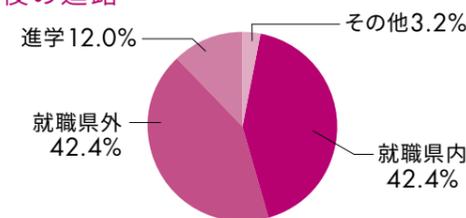


過去2年間

	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士
2022	100.0(93.0)	100.0(99.7)	100.0(96.5)	84.2(86.4)	95.0(88.1)	93.8(88.7)
2021	98.7(95.4)	97.5(97.4)	100.0(99.7)	90.2(91.6)	94.7(86.4)	100.0(88.8)

※( )内 全国平均

### ● 卒業後の進路



#### 主な就職先

群馬大学医学部附属病院、自治医科大学附属病院、前橋赤十字病院、足利赤十字病院、虎の門病院、伊勢崎市民病院、老年病研究所附属病院、群馬県庁 他



### ◆ 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) ~このような人材を育てます~

所定の年限で学し、かつ所定の単位を修得し、各専攻のディプロマ・ポリシーが規定する学識と能力を持つ次のような者に学士の称号を授与します。

1. 保健医療の中核を担うために必要な専門的知識と技術を備え、人間の尊厳を重んじる心を持つ者
2. 保健医療の諸課題に対し柔軟な思考、的確な判断によって問題解決ができる者
3. チーム医療を担う自覚を有し、関係する人々との相互理解と円滑な協働関係が築ける者
4. 社会の多様性・グローバル化に対応できる自己開発力と意欲を持ち、人々の健康に貢献する者

# SHOWA CAMPUS MAP

キャンパスマップ

医学部は昭和キャンパスで学びます。  
医学・保健学・医療を学ぶ場所であると同時に、  
かけがえのない青春の時間を紡ぐステージとなります。

キャンパスエリアは  
落ち着いた  
学習環境です



- |               |            |                |                   |
|---------------|------------|----------------|-------------------|
| 1 医学科 基礎講義棟   | 6 保健学科 中央棟 | 11 群馬大学生協(昭和店) | 16 重粒子線医学センター     |
| 2 医学科 基礎医学実習棟 | 7 保健学科 南棟  | 12 石井ホール       | 17 群馬大学医学部附属病院    |
| 3 医学科 基礎医学棟   | 8 保健学科 新棟  | 13 刀城会館        | 18 アメニティーモール・コンビニ |
| 4 医学科 臨床講堂    | 9 共用施設棟    | 14 生体調節研究所     | 19 ゆめのご保育園        |
| 5 保健学科 西棟     | 10 医学図書館   | 15 課外活動施設、体育館  |                   |



## アメニティーモール・南病棟1階



イタリア食堂Cinema(チネマ)

カフェブランタン

ローソン

尾瀬・BECK'S COFFEE SHOP 群大病院店



## CLUB & CIRCLE

クラブ&サークル

サークルをとおして  
一生の友といえる  
友達ができました!

キャンパスライフをより豊かに!  
大切な仲間と  
一緒に目標に向かってチャレンジし、  
充実した時間を過ごしましょう。



### 運動部

- El Bolos(ボウリング)
- Et's(バスケットボール)
- Get's(サッカー)
- ワンダーフォーゲル部
- 剣道部
- 硬式テニス部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 準硬式野球部
- スキー部
- ソフトテニス部
- 弓道部
- Vit'z(ダブルダッチ)
- 合気道部
- 柔道部
- 水泳部
- 卓球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- 医学部★ダンスサークル

### 文化部

- ELMO(グループ体験学習)
- e∞gg(自主ゼミ)
- Flow Orchestra
- Fore-Bridge Orchestra(FBO)
- Guit's(アコースティックギター)
- origin(折紙研究会)
- Voice Cream(アカペラ)
- 軽音楽部
- 写真部
- でんでんむし(手話)
- モダンジャズ研究会
- 美術愛好会
- マンドリンソサエティ
- 前橋文学会
- 映画研究会
- エレクトーン部
- 天文部
- 東洋医学研究会
- ピアノ部
- 外科手技サークル
- 哲学の森
- 医学部競技麻雀部
- 吹奏楽部
- 野外教育研究会

### ボランティア

- AAA☆Kids
- SRC(献血)
- LEADS(小児糖尿病)
- YMCAクラブ(子どもたちと交流)
- FORS(国際医療ボランティアの会)
- BBS会(少年少女の悩み)
- 夢のわたらせなないろ号

## 群馬大学生協(昭和店)



# CAMPUS LIFE



## 赤城山や榛名山の夜は星が美しくお気に入りです

将来、患者さんがリラックスできて安心感を得られるような病院を開業したいと思い、「良き医師」とはどのような医師かを学んでいます。本学は学生への支援システムが充実しており、先生方も教育熱心です。良き医療者・研究者を目指すなら入学をお勧めします。学業以外には、自ら立ち上げた留学生交流サークルを含め複数のサークル・部活動に参加し、群馬大学クラブ・サークル協議会議長としても活動しています。

医学科

3年 玉置 諄さん

千葉県 渋谷教育学園幕張高等学校 出身



## 国際的な活躍を目指す人にも群大はオススメです！

学業の合間に、研究室活動や国際医療ボランティアサークル活動に参加しています。いざ長期留学もしてみたいので、GFL活動やEnglish cafeなども含め語学学習にも取り組んでいます。前橋は住みやすく、景色の良いスポットやカフェも充実。コーヒーが好きなので、お気に入りの店を探中です。積極的に学びたい、挑戦したいと望む学生へのサポートが手厚い群馬大学医学部で、ぜひ一緒に学びましょう！

医学科

4年 森 なつ実さん

北海道釧路湖陵高等学校 出身

※GFL:グローバルフロンティアリーダー育成プログラム。詳細はp8参照。



## 空き時間や授業後を利用して課題に取り組んでいます

病態や疾患についてだけでなく、心身共に人を見ることができる看護師を目指しています。群馬大学は個性豊かで自身の目標に向かって努力できる学生が多く、また、それをサポートして下さる先生方がいるため、充実した贅沢な学生生活を送れる場所だと感じます。課題で多忙な日々ですが、時間のある休日にはアスレチックで体を動かしたり、カフェめぐりやショッピングなどでリフレッシュしたりしています。

保健学科 看護学専攻

4年 菅沼 華海さん

栃木県立栃木女子高等学校 出身

学びに、青春に、全力で向かい合って、自分らしく日々を過ごし、未来を描く学生の姿をご紹介します。



## 資格取得に向けた勉強は達成感や喜びをくれます

就職後は生理検査業務を担当できたらと考えています。将来的にはエコーのスペシャリストである超音波検査士の資格も取りたいです。日中は学業に励み、夕方以降は保健学科バレー部や群馬大学かるた会で活動するなど、時間の使い方にメリハリをつけて気分転換しています。卒業旅行に行きたいのでアルバイトも頑張っています。本学にはチューター制度があり、先生方のサポートが受けられることがとても心強いです。

保健学科 検査技術科学専攻

4年 嶋宮 碧さん

埼玉県 星野高等学校女子部 出身



## 学業に集中するための設備が整っているのも本学の魅力

一人暮らしの自炊の中で、時間の余裕があるときに料理の作り置きをするようになりました。徐々に得意料理も増えています。私は群馬大学全学のバレーボールサークルに所属しており、他学部の同期や先輩・後輩と一緒に活動しています。サークル活動以外でも食事に行ったり遊んだり、いろいろな話ができてとても楽しいです。またアルバイトも二つ掛け持ちし、文字通りの「充実した大学生活」を満喫しています。

保健学科 理学療法学専攻

3年 土井 由貴さん

秋田県立本荘高等学校 出身



## 一人の時間と仲間との時間、どちらも充実しています

合気道部の部長として、アルバイトと両立しながら活動を楽しんでいます。初心者でも楽しめる武道なので、気軽に見学・入部してほしいです。前橋市は豊かな自然も身近にありつつ、首都圏も日帰りOK、大学近くにはスーパーや飲食店が揃い、暮らしやすい街です。平日の昼休み前後の空きコマに、車やバイクで赤城山に上るのがお気に入り。夏場はソフトクリームがおいしく、美しい緑を見ると気分転換になります。

保健学科 作業療法学専攻

3年 井上 紡さん

群馬県立中央中等教育学校 出身

長期休暇には興味のあることを学んだり、旅行をしたりしています

毎年春になると大学を囲んで咲く桜の花の美しさに圧倒されます

大学近くの居酒屋に行くと友人と偶然会うこともあります

甘味処「十紋字」の「白玉クリームあんみつ」がお気に入りです！

ラーメン屋めぐりが好きです！おいしい店を開拓しています！

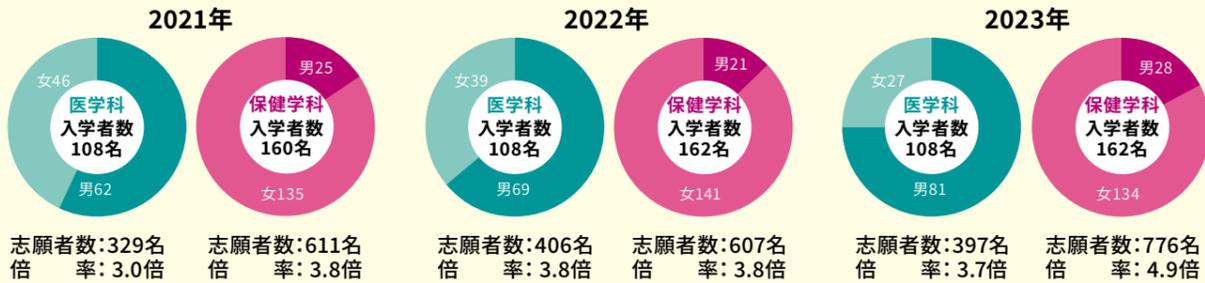
1年生の春休みにバイクの免許を取り、ツーリングを楽しんでいます

データで見る!

# GUNDAI

群馬大学医学部について、実際の数値をもとに分かりやすくご紹介します。

## 入学者の男女比・志願者数と倍率（過去3年間）



## 出身校所在地別入学者数（2023年度医学部入学者）

- 1位 群馬県 104名
- 2位 東京都 37名
- 3位 埼玉県 27名

関東地方や中部地方出身者が多いですが、海外や沖縄・九州など遠方の出身の学生もいます。



## 群馬大学(医学部)の歩み

- 1873 小学校教員伝習所(現共同教育学部)
- 1915 桐生高等染織学校(現理工学部)
- 1943 前橋医学専門学校(現医学部)
- 1948 前橋医科大学
- 1949 群馬師範学校・群馬青年師範学校・前橋医科大学・桐生工業専門学校の諸学校を包括し、それぞれ学芸学部、医学部および工学部からなる群馬大学が開学
- 1955 大学院医学研究科設置(現大学院医学系研究科)
- 1963 附置研究所として内分泌研究所設置(現生体調節研究所)
- 1996 医学部に保健学科設置
- 2004 国立大学法人化
- 2005 重粒子線医学研究センター設置
- 2010 重粒子線治療開始
- 2011 大学院保健学研究科設置
- 2013 多職種連携教育研究研修センター(WHO協力センター)設置
- 2014 未来先端研究機構設置
- 2017 食健康科学教育研究センター設置

群馬大学は、2023年に、ルーツである「小学校教員伝習所」の設立から創基150周年を迎えます。



# GUNDAI Q & A

Campus Life

群馬大学医学部に進学を希望する皆さんの気になる疑問・質問にお答えします!

**Q** 1年次は荒牧キャンパスに通うのですか?

**A** 医学部の1年次の講義は週3日を荒牧キャンパスで、残り2日を昭和キャンパスで受講します。2年次以降は全講義を昭和キャンパスで受講します。両キャンパスの距離は約3.5km(徒歩約45分・自転車約20分)です。下宿生は昭和キャンパス付近(荒牧キャンパス寄り)に住むことが多いです。



**Q** 何かで困ったときに相談できる窓口はありますか?

**A** 医学部医学科・保健学科とも、チューター制度を設けています(詳細:医学科 p7、保健学科 p15)。また、助言を行うための全学的な機関として、荒牧地区(昭和地区含む)に学生相談室があります。外国人留学生には、国際センターでも相談に応じています。体調面の不安については、学生を身体的・精神的にサポートする学内の医療機関「健康支援総合センター」において、医師と看護師が、体と心の健康相談、保健指導、応急処置、医療機関への紹介、健康教育、カウンセリングなど、卒業するまでの健康管理をサポートしています。

**Q** 一人暮らしを始めます。下宿先や住まいに関する情報を提供してもらえますか?

**A** 大学の窓口で斡旋はしていませんが、生協の『受験生・新入生応援サイト』でお部屋探しに関する情報を提供しています。

受験生・新入生応援サイト  
[https://text.univ.coop/puk/START/gundai/life/life\\_26.html](https://text.univ.coop/puk/START/gundai/life/life_26.html)



お部屋探し情報がここに掲載されています



**Q** サークルやアルバイトと学業の両立はできますか?

**A** 所属するサークルやアルバイトの職種等によりかなり左右されると思われますが、きちんとした自己管理と計画性を持っていれば、学業と両立させることは大抵の場合可能だと思われます。現在、多くの先輩がサークルやアルバイトと学業を両立させて医学部で学んでいます。



**Q** 奨学金はどのような種類がありますか?

**A** 群馬大学では、日本学生支援機構の奨学金をはじめ、地方公共団体や民間奨学団体などの各種奨学金を取り扱っています。奨学金制度には、返還が必要な貸与型(無利子・有利子)と返還が不要な給付型があります。いずれの奨学金制度も学業・人物がともに優秀であって、経済的に授業料等の支出が困難な学生が対象となります。

奨学金は学びたい気持ちを応援してくれます



**Q** 過去問題は公表していますか?

**A** 特別選抜、一般選抜の問題、解答例、評価ポイント等については、群馬大学ホームページに掲載しています。

群馬大学ホームページ 過去の入試問題  
[https://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001\\_002](https://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_002)



合格めざしてがんばろう!



# 入学について



**医学科**  
<https://www.med.gunma-u.ac.jp/>  
 TEL.027-220-8910



**保健学科**  
<https://www.health.gunma-u.ac.jp/>  
 TEL.027-220-8909

## 医学科 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ~このような人を求めています~

■人材育成の目標  
 医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることをふまえ、医学生として、科学的知(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面(SES)にわたって自己研鑽に励むことができる人

- 入学者に求める能力・資質
- ① 豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身に付けることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人
  - ② 医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人
  - ③ 本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

■入学前に学習することが期待される内容  
 特に日常的な学習が十分に行われていることが望ましいのは、国語と英語である。専門科目を学ぶために必要となるのは、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bであり、理科では、受験科目にかかわらず、物理(物理基礎を含む)、化学(化学基礎を含む)、生物(生物基礎を含む)である。

■入学者選抜の基本方針  
 本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

- 一般選抜 前期日程** ③に対しては大学入学共通テストと学力検査(数学、理科)を、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。
- 学校推薦型選抜** ③に対しては大学入学共通テストを課し、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類(調査書、推薦書、適正資質調査書、志望理由書)を加え、総合して判定します。
- 私費外国人留学生選抜** 日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、③に対しては学力検査(数学、理科)を、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。
- 帰国生選抜** ③に対しては学力検査(数学、理科)を、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。
- 2年次編入学** ①、②、③に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類等を加え、総合して判定します。

■入学者選抜方法における重点評価項目 ※該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

入試区分	入学者選抜方法	該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働する態度
前一般選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	学力検査(数学、理科)	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書・志望理由書(地域医療枠志願者のみ)	面接時の参考資料として利用		
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○	○	○
	推薦書		○	○
	適正資質調査書	○	○	
	志望理由書(地域医療枠志願者のみ)	○	○	○

入試区分	入学者選抜方法	該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働する態度
留学生選抜	日本留学試験	○	○	
	学力検査(数学、理科)	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	成績証明書	面接時の参考資料として利用		
帰国生選抜	学力検査(数学、理科)	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	出願書類	面接時の参考資料として利用		
2年次編入学	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	出願書類等	面接時の参考資料として利用		

## 学費

入学時および在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料を適用します。毎年2期(前期:4月、後期:10月)に分けて徴収します。

入学科	282,000円	授業料	535,800円(年額)
-----	----------	-----	--------------

■その他必要経費

入学時に必要な経費(予定)	金額
刀城クラブ・同窓会終身会費	170,000円
後援会費(共用試験等受験料を含む)	100,000円(90,000円)
学生教育研究災害傷害保険料	4,800円(4,130円)
学研災付帯賠償責任保険料	3,000円(2,500円)
医療費補助会費	12,000円
荒牧クラブ・サークル協議会費	5,000円
学友会費	9,500円(8,000円)
<b>合計</b>	<b>304,300円(291,630円)</b>
テキスト代など	年間約150,000円程度

※( )内の金額は、編入学した場合

入学時に必要な経費(予定)	金額
同窓会終身会費	40,000円
後援会費	40,000円(20,000円)
学生教育研究災害傷害保険料	3,370円(1,790円)
学研災付帯賠償責任保険料	2,000円(1,000円)
荒牧クラブ・サークル協議会費	5,000円
学友会費	4,000円(2,000円)
<b>合計</b>	<b>94,370円(69,790円)</b>

学外実習  
 看護・検査技術科学専攻では一部の実習が学外で行われ、旅費の負担が必要です。理学・作業療法学専攻では臨床実習の大半が学外施設で行われ、旅費や場合により宿泊費等の費用が必要となります。

テキスト代など  
 年間50,000円～70,000円程度(専攻による)

※( )内の金額は、編入学した場合

## 保健学科 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ~このような人を求めています~

- 人材育成の目標
- (1) 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
  - (2) 本学科での学修を通して、学士(看護学・保健学)に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
  - (3) 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
  - (4) 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
  - (5) 看護師・助産師・保健師、臨床検査技師・細胞検査士、理学療法士、作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

- 入学者に求める能力・資質
- ① 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
  - ② 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
  - ③ 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
  - ④ 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
  - ⑤ 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

■入学前に学習することが期待される内容  
 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

■入学者選抜の基本方針  
 本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

- 一般選抜 前期日程** ③～⑤に対しては大学入学共通テストを課し、①、③及び⑤に対しては小論文を課します。また、①及び②に対しては出願書類(調査書)により評価を行った上で、総合して判定します。
- 一般選抜 後期日程** ③～⑤に対しては大学入学共通テストを課し、①、③及び⑤に対しては小論文を課します。また、①及び②に対しては出願書類(調査書)により評価を行った上で、総合して判定します。
- 学校推薦型選抜** ①及び③～⑤に対しては小論文を、①及び②に対しては面接を課します。また、出願書類(調査書、推薦書)を加え、総合して判定します。
- 私費外国人留学生選抜** 日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、①、③及び⑤に対しては小論文を、①及び②に対しては面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。
- 帰国生選抜** ①及び③～⑤に対しては小論文を、①及び②に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。
- 社会人選抜** ①及び③～⑤に対しては小論文を、①及び②に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。
- 3年次編入学** ③～⑤に対しては学力試験(専門科目、外国語)を、①及び②に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等を加え、総合して判定します。

■入学者選抜方法における重点評価項目 ※該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

入試区分	入学者選抜方法	該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働する態度
前一般選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	調査書	○	○	○
後一般選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	調査書	○	○	○
	面接	○	○	○
学校推薦型選抜	小論文	○	○	
	調査書・推薦書	面接時の参考資料として利用		
	日本留学試験	○	○	
留学生選抜	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	成績証明書	○	○	○

入試区分	入学者選抜方法	該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働する態度
選 帰国生	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
選 社会人	出願書類	面接時の参考資料として利用		
	小論文	○	○	
選 3年次編入学	面接	○	○	○
	出願書類	面接時の参考資料として利用		
編 3年次編入学	学力試験(専門科目、外国語)	○	○	
	面接	○	○	○
	成績証明書及び志望理由書等	○	○	

## 入学者選抜

■2023年度入学者選抜実施状況(2022年度実施)

募集人員	推薦	前期日程	帰国生	私費外国人留学生
募集人員	37(25,12)	71(65,6)	若干名	若干名
志願者数	90(65,25)	303(266,37)	0	4
受験者数	90(65,25)	198(176,22)	0	2
合格者数	37(25,12)	76(70,6)	0	0
入学者数	37(25,12)	71(65,6)	0	0

※( )内は出願区分内訳(「一般枠」,「地域医療枠」) ※合格者には追加合格者を含みます。

保健学科

	看護学専攻					検査技術科学専攻					理学療法学専攻					作業療法学専攻									
	推薦	帰国生	社会人	前期日程	後期日程	推薦	帰国生	社会人	前期日程	後期日程	推薦	帰国生	社会人	前期日程	後期日程	推薦	帰国生	社会人	前期日程	後期日程	推薦	帰国生	社会人	前期日程	後期日程
募集人員	30	若干名	若干名	33	17	9	若干名	若干名	22	9	8	若干名	若干名	8	4	8	若干名	若干名	8	4	8	若干名	若干名	8	4
志願者数	107	0	0	103	201	1	43	0	1	40	74	0	40	1	0	30	48	0	15	0	0	26	47	0	
受験者数	106	0	0	95	74	1	43	0	1	37	30	0	40	1	0	29	30	0	15	0	0	25	18	0	
合格者数	31	0	0	38	20	0	10	0	0	22	12	0	8	1	0	8	4	0	8	0	0	8	11	0	
入学者数	31	0	0	33	17	0	10	0	0	21	9	0	8	1	0	8	3	0	8	0	0	4	9	0	

〈募集要項の発表時期〉

志願者の利便性向上および入試業務の効率化等を図るため、一般選抜(前期日程・後期日程)、特別選抜(学校推薦型選抜、帰国生・社会人選抜、私費外国人留学生選抜)でインターネット出願を導入しています。

※編入学の募集要項はHPで公開中です。

インターネット出願  
 学生募集要項  
 9月中旬公表(予定)

